

NPO 法人 国境なき技師団 オンラインセミナー 『災害復興プロジェクト～現場代理人が語る～』シリーズ

第2回 南三陸町・復興 CM プロジェクト

<住宅すべてを高台へ・未来に向けた安全なまちづくり>



◆開催日時:2023年 4月12日(水) 14:00~16:00

<土木学会認定 CPD プログラム(2.0 単位) セミナー終了後にレポートをご提出いただきます>

※土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営する CPD 制度に関する内容については回答いたし兼ねます

◆講 師:飛鳥建設株式会社 土木本部 担当部長 松浦一志
(元 飛鳥・大豊・三井共同建設コンサルタント 南三陸町復興整備事業 統括管理技術者)

◆主 催:NPO 法人 国境なき技師団

◆後 援:公益社団法人 土木学会

◆申し込み方法:

当ホームページセミナーサイトより、必要事項を入力の上3月24日までにお申し込みください【定員先着 500 名】。

お申込みいただいた方には、3月末までにウェビナー参加情報をお送りいたします。

※本セミナーはマイクロソフト Teams ウェビナーで開催いたします。

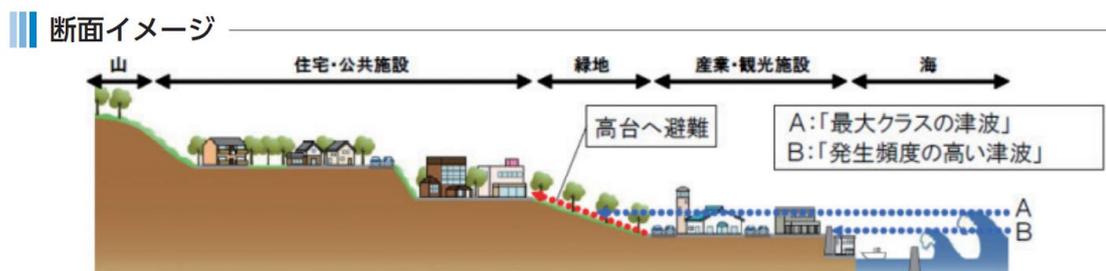
【プロジェクト概要】

○宮城県南三陸町の中心である志津川地区においては、明治以降、明治三陸津波、昭和三陸津波、チリ地震津波、東日本大震災と多くの被害を受けてきました。

これまでは津波で被災した施設・住宅はそのまま低地で再建してきたため、今回の大津波により志津川地区では7割を超える建物が被災してしまいました。

○今回の大震災からの復興にあたっては、住宅と学校他の公共施設は最大クラスの津波でも浸水しない高台へ移転させる計画とし、これまでさまざまなものが集積していた低地の中心市街地も高上により、新たに整備することとしました。

事業は UR 都市機構による復興 CM 方式により進められ、ゼネコンと建設コンサルタント会社の共同企業体(JV)により、国・県・町のそれぞれが発注の他事業や通信・電気などのインフラ事業者との調整を行いながら完成しました。



出典:UR 都市機構 東日本大震災復興支援事業記録集

以上